

第3回 オリンピック・パラリンピック教育推進プログラム

東京都品川区立 豊葉の杜学園 開催報告

vol.03
2019.4

開催日 2019年3月12日（火）

第3回となる「オリンピック・パラリンピック教育推進プログラム」を、品川区立豊葉の杜学園にて、学習目的「パラリンピックを支える義肢装具士という仕事や、障害を抱えた人々を支える義肢装具についての学習」を開催いたしました。

当日のスケジュールは2クラスを対象に、1コマ50分間のプログラムを1クラスずつ同内容で繰り返して2コマ実施いたしました。

プログラム内容は、「義肢装具士の講演」・「生徒4名の代表による、模擬義足歩行の体験」・「大腿義足ユーザーによる義足のパフォーマンスと、質疑応答を通じて生徒との交流」の3種を行いました。

講義 ～義肢装具とパラリンピックについて～

義肢装具士による「パラリンピックを支える義肢装具士や障がいを抱えた人々を支える義肢装具」の講義では、「パラリンピック」の成り立ちやその競技を支える「義肢装具士」について詳しく説明していただき、会場の生徒達は初めて見聞きする話しに興味を持って耳を傾けてくれました



模擬義足歩行体験

模擬義足歩行体験では、スタッフ人員が限られていることから各コマ2名の生徒代表による体験となりましたが、代表生徒が恐る恐る模擬義足で歩く姿を生徒たちは注視していました。

義足ユーザーとの交流

義足ユーザーによる義足パフォーマンスでは、初めて義足歩行を目の当たりにする生徒が大多数であることから、非常に興味深くそのパフォーマンスを観察している姿が印象的で、代表生徒の模擬義足歩行と比べユーザーの義足歩行の自然さや、走行などのパフォーマンスに驚いている様子が伺えました。



イベントを終えて...

豊葉の杜学園では今回初めてのオリパラ教育推進プログラムであり、また平日開催でスタッフ要員と時間が限られた条件のなかでの実施でしたが、生徒達はもちろんのこと教職員の方々にも、学校から要望された学習目的である「義肢装具士」・「障がいを抱えた人々」・「義肢装具」に関して、理解を深めていただけるプログラムを提供出来たと考えます。